



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 31 年 4 月 27 日(土)
秋田道・太平山パーキングエリアでイベント開催 編

史上最長クラスのGW初日の4月27日、太平山パーキングエリア(以下、PA)において、秋田県北・能代山本地区への観光誘客を目的とした地域活性化イベントを開催しました。当PAでの開催は3年連続。時折小雨がまじる肌寒い中、お客さまの多くは、故郷秋田や青森への里帰り、ユネスコ登録されたナマハゲの里男鹿半島、大潟村「菜の花ロード」、弘前桜まつり等へ向かわれる県外からの方々。視認車両ナンバー最遠は香川。また、庄内・新潟といった日本海側ナンバーも相当数確認。あいにくの天候にもかかわらず、来場者数は昨年とほぼ同数の500人余り。

イベントは、①秋田産木工製品の展示販売、②休憩施設における木材利用や高速道路整備に関するアンケート、③シーニックカフェと銘打った北海道胆振東部地震被災地支援コーヒー募金、④観光情報の提供(東北道の駅連絡会、秋田県山本地区振興局、能代市、三種町、藤里町、八峰町)、⑤秋田犬ふれあいコーナーの他、ネクスコのドラ割・ドラ得もPR。

飲食物販コーナーでは、「鶴形そば」はじめ、旬の山菜や「味噌たんぽ」「しょつつるあたりめ」等を販売。一日限りのイベントですが、“木の香る大平山 PA”と秋田県北・能代山本地区の魅力のPRにより、地域の活力向上の一端に貢献できたものと思います。

来年以降も出展(店)のみなさまと、ご来場のお客さまが「人と木のぬくもり」を感じられるイベントとして、当PA春のGWの風物詩として継続していきたいと実感。

文：平澤 義弘



吐息が白くなる気温の低さでしたが、風雨がひどくならなかったのが何より。秋田道ではあまり見かけない「光太郎」と「花子ちゃん」がネットワークのイベントに初登場。普段は裏側を見ることはないで、表裏対象なのは新発見でした。



遠方からのお客さまはかなり薄着で、私たち以上に厳しい寒さを体験。雨天にも関わらず温かいものを中心にお店の売り上げは好調でした。飲食コーナー用のテントを用意して良かったですね。



昨年からの登場のネクスコ&国交省の若者による「はちくん」は新しくなっていてふわふわ。本物の秋田犬、まるちゃんと同じくらい人気者です(上)。

お声掛けの頑張りや花苗&アロマオイルプレゼント効果で、150人の方々にアンケート調査にご協力頂きました(下)。

のしろ白神の道周辺PRのため、今年は新たに美しい風景写真を展示してビュースポットの紹介を行いました(左)。この日に間に合うようみんなで塗装しなおしたプランターカバーは新品並みに雨をはじいていました(右)。

